

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2351回

平成19年2月20日(火) 晴(本年度 第31回)

会長報告

丸山隆志

「ロータリーの友」2月号の地区大会略報に、藤川PGがRI会長代理で出席した第2690地区(岡山・島根・鳥取)の記事が掲載されておりました。藤川PGは、講演の中で「ロータリーの魅力を分かち合いたい」と述べておりました。これは、次年度RIテーマ「ロータリーは分かち合いの心」を予言したような素晴らしい講演だったと拝察いたしました。

* * *

「佐賀のがばいばあちゃん」(がばい=すごい) 徳間文庫

作者は、島田洋七(漫オブームの際に頂点に立った「B & B」の一人)。彼は、父親を原爆症でなくし、母一人で働かなくてはならなかったため、小学校から中学校まで、母の側を離れ佐賀の祖母とともに暮らした。少年時代の出来事を書いた小説。いわば、彼の自伝です。300万部突破している本です。昨年6月、映画化(文部科学省推奨)。今年1月4日フジテレビ系でテレビ放送になりました。

『今から40年ほど前の話である。思えば、あれから世の中は急変した。所得倍計画、高度成長、大学紛争、オイルショック、地価上昇、校内暴力、円高、ドル安、バブル、そしてバブルの崩壊、価格破壊、就職氷河期……。『今、世の中はひどい不景気だ』とみんなは言うけれど、何のことはない。昔に戻っただけだと、俺は思う。変わってしまったのは、人間の方だ。お金がないから。ホテルで食事ができないから。海外旅行に行けないから。ブランド物が買えないから……。そんなことで不幸だと思ってしまうなんて、どうかしている。(中略) お金がないから、不幸。今、みんなが、そんな気持ちに縛られ過ぎていると思う。大人がそんな考えだから、子供も健やかに過ごせるはずがない。ディズニーランドに連れて行ってもらえないから、流行の服が買ってもらえないから、親を尊敬しない。成績が悪いから、いい学校に入れないから、自分の将来は真っ暗

だと思う。そんな子供ばかりが育ってしまい、毎日がおもしろくなくて、将来に希望を持てなくて、少年犯罪が増えてゆくのだ。本当はお金があっても、気持ち次第で明るく生きられる。なぜ断言できるかというと、俺のばあちゃんがそういう人だったからだ。ばあちゃんは、明治33年(1900年)生まれ。20世紀とともに人生を生き、まさにひと昔前の世代だ。(中略) 今、みんなはとてつもない勘違いをしているんじゃないだろうか。40年前までは確かにあった幸せを放棄して、不幸な方、不幸な方へと進んでいる気がする。みんな、道を間違えな。

佐賀の、がばい(すごい)ばあちゃんの話聞いてくれ、幸せは、お金が決めるものじゃない。自分自身の、心のあり方で決まるんだ。』

この書き出しで始まる本です。この本を読んでいると、元気がもらえます。生きるヒントももらえます。是非機会があれば、読んでみて下さい。

おさばあちゃんの楽しく生きる方法語録抜粋

- ◎捨てるものはあっても、捨てるものはない
- ◎本当に人に優しくするには気付かれないようにしろ、お返しがいらぬように
- ◎不便が健康につながる、体は使わなければ不健康になる
- ◎ケチは最低！ 節約は天才！
- ◎「暑い」「寒い」と、うるさく言うな、夏は冬に感謝し、冬は夏に感謝しんしゃい
- ◎悲しい話は夜するな、つらい話も昼にすれば何とということもない

まちに夢を描く

ゲストスピーチ

鶴岡青年会議所 第41代理事長 佐々木 一 広 氏

社団法人 鶴岡青年会議所 第41代理事長を務めております、佐々木一広でございます。本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。



平成7年に庄内の魅力の一つ？に惑わされ埼玉県

より、1 BOX 一台でこの鶴岡にお世話になる事となりました。美しい日本海に沿って国道7号線を北上し温海温泉を越え鶴岡市に入る案内板をみて最初に感じたことは、「何も無い・・・。」でした。もちろん今ではそんな事は決して思っておりませんが、当時は自分の住んでいた地域と比較して、コンビニが無い、デパートが無い、映画館が、テレビの放送局数が、24時間のGSが、と挙げればきりが無いほどしょうもない比較をしながら？生活を始めました。

まずは、職探しからでした。前職では都内の大病院や個人の病院・開業医院などで医療計測機器の営業販売をしておりました。ハローワークに通い色々を探してはみたものの中々見つけることが出来なかった所に義理の父より、現在の総合保険代理店業を目指す代理店研修生制度を紹介され現在の損保ジャパンの前身である旧安田火災に入社することになりました。職種の内容を良く考えずに制度に登録してしまい営業を開始してから、とんでもない職業を選んでしまったと・・・。担当者からは「仕事に慣れるまでは、縁故・知人・友人・同級生を中心にあいさつ回りしながら営業をしてみても・・・と」そんな人達は「いない!!」ひと月たって頂けたご契約は社員の海外旅行保険の1件のみでした。

全国順位が提示されるのですが、160人程の同期入社中158位でした。しかし、この間で庄内のほぼ全ての温泉施設等を巡る事が出来ました。営業車には常に温泉セットが積んでありました。様々な場所に行くことにより、庄内の素晴らしさが少しずつ分かってきましたし、道も覚えた！次にやることは人と逢いネットワークを創ることでした。同じ研修生仲間からは非効率だという意見もいただきましたが、飛び込み訪問を始めました。とにかく当時の私には、これしかありませんでした。しかし、知識も無ければ、訪問する理由もない状態では、1～3回も訪問すると苦痛でしかありませんでした。お客様にしてみれば、全く知らない人間がセールスに来れば警戒して当たり前なのですから・・・。そこからは、自分との戦いになりました。考え抜いた結果は勝手に「佐々木通信」なる保険セールスとは全く関係のないお便りを定期的に作成し飛び込みをしていた地域に訪問し続けました。(今年の3月号の原稿を参考に添付いたしました。)3ヶ月もした頃から相談をしていただける方も徐々にですが増え始め、気がつけば3年が経ち、無事研修生を卒業し独立・開業することが出来、現在の事業の基盤となりました。そうした、活動を続けるうちに、この鶴

岡JCとの出会いがあり、入会することとなりました。初めはただ、参加するだけでした。毎月の例会・委員会に可能な限り参加できることには積極的に出席しました。(本当にただ、いただけですが・・・)月日がたち、子どもも大きくなり、幼稚園・小学校へと進級しながら、私も子どもの成長に合わせるように、地域の町内会・子ども育成会・幼稚園PTA・致道会(朝陽第一小学校)PTA・そしてJCと活動してきました。

今年度、鶴岡青年会議所ではこれまでも活動とともにしてきた団体や、地域で活躍する様々な団体と協力し、地域に貢献できる公益団体として“まちに夢を描く”「未来のまち、そして子どもたちのためにみんなの夢を描こう！」をスローガンに総勢94名の会員とともに日々、「明るい豊かな」まちづくりを、実践・活動してまいります。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	62.79%
出席数	29人	修正出席数	30人
出席率	67.44%	確定出席率	69.77%

●メイクアップされた方

藤川 享胤君 秦 幸助君 樋渡美智子君
本間 昭吉君 丸山 隆志君 嶺岸 禮三君
真島 吉也君 越智 茂昭君 佐藤 孝子君
富田喜美子君

●ゲスト

佐々木一広氏(JC 鶴岡青年会議所理事長)

スマイル

越智茂昭君 藤川さん、ありがとうございました。

自衛隊は国民の皆様のご支援があって任務ができます。今後もよろしくお願いいたします。

佐藤友行君 今年度TJC理事長佐々木一広君の御健闘を祈念致します。

佐藤孝子君 鰯汁例会の写真のお礼。藤川さん、又情報教えて下さい。

佐々木詰彦君 JC理事長、頑張ってください。20日合唱祭に娘が出演します。

迎田 健君 佐々木さんスピーチ有難うございます。1年間JC頑張っておつとめ下さい。

嶺岸禮三君 加藤恒介さんの氏名表示が誤っておりました。失礼致しました。GSEインドチーム元気で頑張っておりますが、職業研修が少なく観光地ばかり行っているようです。